ひとが輝くまち

広報ゆざ

YUZA Town Public Relations

平成31年　No.696

2

今月の話題

ユネスコ無形文化遺産登録後 初 遊佐の小正月行事(アマハゲ)が行われました …… 2P
今年度の姉妹都市ハンガリー・ソルノク市派遣団が決定しました …… 4P
平成29年度　下水道事業の会計決算状況 …… 5P
平成31年　成人式 …… 12P
ほか

ユネスコ無形文化遺産登録後 初

遊佐の小正月行事（アマハゲ）が行われました

昨年11月に、ユネスコ無形文化遺産に登録された「遊佐の小正月行事（アマハゲ）」。1月1日(火・祝)に滝ノ浦、1月3日㈭に女鹿、1月6日㈰に鳥崎集落で、登録後初めてのアマハゲ行事が行われました。

今年もアマハゲがやって来た

アマハゲは、ケンダンと呼ばれるみのや鬼などの面をつけて各戸をまわり、怠け心をいさめるとともに、無病息災、五穀豊穣を祈る行事です。今年のアマハゲは登録後初めての行事ということもあり、非常に注目度の高い中行われましたが、来訪神は俗世の都合などなんのその。行事に参加した子どもたちが、太鼓の音とともに現れたアマハゲに抱きかかえられ、「良い子にします！」と叫ぶ姿が見られました。

女鹿集落のアマハゲ

これまでの町の取り組み

教育委員会では、昭和59年に「遊佐のアマハゲ」を町の無形民俗文化財に指定した後、継続してその支援を行ってきました。行事で使用する稲わらなどの衣装材料の調達、対外公演における交通手配や随行などの補助、そして後世へ保存・伝承するための詳細な映像記録の作成などです。

近年では、機運の醸成のため、イベントの開催や主要な施設にのぼり旗や顔出しパネルを設置するなどの取り組みを行ってきました。昨年度は、遊佐町民俗芸能公演会において「男鹿のナマハゲ」に出演していただき、ナマハゲとアマハゲの共演が実現するなど話題となりました。今年度もゆざ学講座として、文化庁係官よりユネスコ無形文化遺産と「遊佐の小正月行事」についてご講話をいただいています。また、老朽化していた集落看板の改修も行いました。

その成果もあり、昨年11月に「遊佐の小正月行事」はユネスコ無形文化遺産に登録されました。政府間委員会の決議文では、「提出国が大変よく調えられ、明確な構成をもつ提案書を提出したことを祝い、また、提案された無形文化遺産のカギとなる側面を全て含み、視聴者がこの無形文化遺産の詳細を理解できるようにするビデオを提出したことを称賛

する」との評価をいただいています。

滝ノ浦集落のアマハゲ

地域間の交流・連携を

ユネスコ無形文化遺産の登録は、遊佐町だけではなく、来訪神行事保存・振興全国協議会として取り組んできたことの成果です。地域間の交流や連携強化のため、会員相互のネットワークの構築、地域間交流の促進および意見交換の実施を行っています。また、遊佐町民俗芸能公演会において、町外の招へい団体として、「男鹿のナマハゲ」や「米川の水かぶり（登米市）」に出演していただきました。引き続き、来訪神行事の所在する自治体同士の連携、そして保存会同士の交流を深めていきます。

当日の対応

ユネスコ無形文化遺産の登録により、「遊佐の小正月行事」への関心の高まりや、伝承の機運の高まり、町の文化財の情報発信、そして来訪神行事を伝承する地域間の交流や連携強化が期待されています。その一方で、過度に注目が集まることによる、集落への負担も懸念されています。アマハゲは集落に伝わる民俗行事であり、その舞台は一般家庭です。ユネスコ登録を受けて、特に今年は、報道機関や見学者の増加による行事への影響が危惧されていました。

教育委員会では、各集落との協議を重ねた結果、「一般家庭への出入りは、お断りさせていただく。ただし、報道機関については、事前申し込みの上、各集落が対応可能な範囲で取材をお受けする」との対応を取ることとなりました。また、「アマハゲ行事に関する注意事項」について、町の広報やＨＰでの情報の周知に努めました。

鳥崎集落のアマハゲ

当日は、多くの報道機関や見学者が詰め掛けたものの、集落の皆さまのご厚意により、混乱なく無事に行事を終えることができました。

アマハゲを続けていくために

町では、急激な少子高齢化の進行や都市部への若年層の流出が、大きな課題となっています。三集落においても、同様の傾向にあり、行事の担い手の不足や高齢化は、近年顕著になっています。また、子どもの減少により、アマハゲが諭す対象がいなくなるとともに、これまで子どもが担ってきた鳥追いは、継続が難しい状況にあります。

その解決策を見出すアプローチとして、まずは、「遊佐の小正月行事」を知っていただくことが重要です。町の文化財を知ることにより、その重要性についての意識向上が図られ、町全体で、その保存と伝承に取り組んでいくことが望まれています。保存会や町だけでなく、教育分野や地域と連携して取り組むことが必要です。特に、未来を担う子どもたちへの教育に活かし、郷土愛にあふれた地域に貢献できる人材の育成をめざしていきます。

遊佐の小正月行事「鳥追い」（鳥崎集落）

イラスト／木山由紀子　　写真／須藤敏彦

アマハゲを見たい という方のために

現在、教育委員会では「祝 ユネスコ無形文化遺産登録 遊佐の小正月行事」と題して、企画展を計画しています。２月上旬、遊楽里を会場に、タペストリーの掲示や映像資料の上映を予定しています。今後の経過は、広報等でお知らせしますので、どうぞお楽しみに。

●問／教育課文化係
☎72－5892

今年度の姉妹都市ソルノク市派遣団が決定しました

「積極的にコミュニケーションをはかり、お互いの友好と親善を育みます。」

国際理解の第一歩

ハンガリー・ソルノク市派遣事業は今回で25回目となります。今年度の団員は、中学生12名を含む14名です。12月11日㈫に行われた派遣団員任命式では、「ホストファミリーと積極的にコミュニケーションをとりたい。」「ハンガリーの文化にふれてきたい。」「日本との違いを見つけてきたい。」などの抱負を元気に語ってくれました。

1月12日㈯からは、3月の出発に向けた研修会が始まりました。研修会では、遊佐町国際交流協会会員が講師となり、ハンガリー語や歴史・文化を学ぶとともに、日本文化や遊佐町について、ハンガリーの皆さんに伝えるためのスキルを身につけます。

派遣期間は3月20日㈬～27日㈬の8日間です。団員は期間中ソルノク市役所をはじめ、幼稚園、芸術小学校などを訪問するほか、3泊4日のホームステイを体験する予定です。

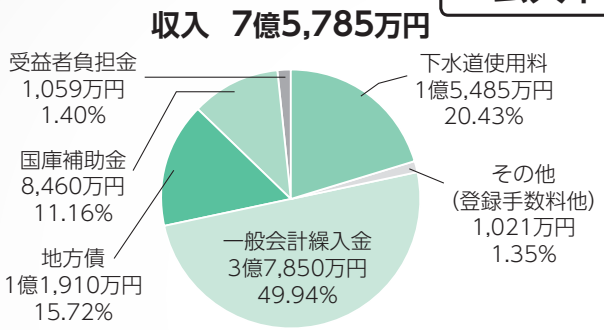
●問／企画課企画係 ☎72－4523

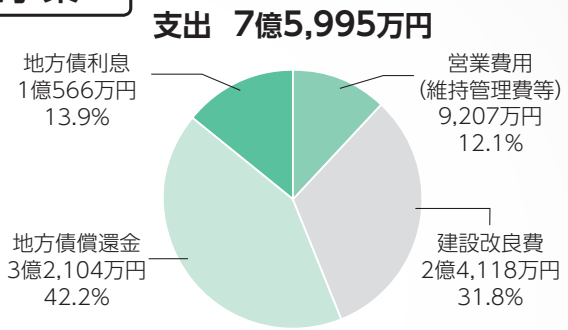
平成30年度　派遣団員名簿

区分	番号	氏　名	性別	勤務先・学校名
団長	1	阿部　秀雄（ひでお）	男	教育課文化係
中学生	2	阿部　裕太（ゆうた）	男	遊佐中１年
	3	齋藤　圭佑（けいすけ）	男	遊佐中１年
	4	菅原　羽堯（うきょう）	男	遊佐中１年
	5	高橋　優輝（ゆうき）	男	遊佐中１年
	6	中山　天斗（たかと）	男	遊佐中１年
	7	阿部　凪咲（なぎさ）	女	遊佐中２年
	8	佐藤こころ	女	遊佐中２年
	9	菅原　希羅（きら）	女	遊佐中２年
	10	菅原　悠希（ゆうき）	女	遊佐中２年
	11	菅原璃乃杏（りのあ）	女	遊佐中２年
	12	土門　心羽（ここは）	女	遊佐中２年
	13	長澤　優衣（ゆい）	女	遊佐中２年
事務局	14	菅原　恵里（えり）	女	地域生活課下水道係

平成29年度　下水道事業の会計決算状況

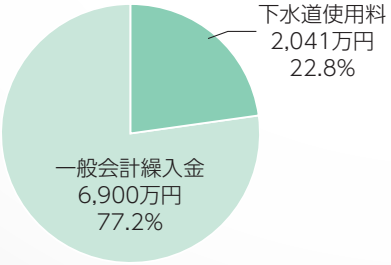
公共下水道事業

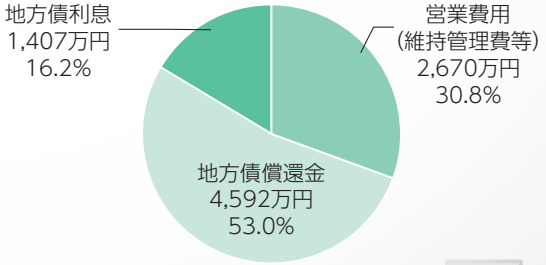




※歳入の不足分は、前年度繰越金で補填しています。

地域集落排水事業





●下水道事業の会計について

町の下水道事業は、公共下水道事業特別会計と地域集落排水事業特別会計の2つの会計で運営しています。

公共下水道事業特別会計では、遊佐浄化センターに流入する区域の皆さんから納付していただいた使用料や一般会計からの繰入金を財源として、浄化センターの維持管理や地方債の償還（返済）を、国の補助金や受益者負担金、地方債を財源として下水道施設の建設を行っています。

地域集落排水事業特別会計では、豊岡、直世、杉沢、藤井の四つの農業集落排水処理施設と、比子簡易排水処理施設に流入する区域の皆さんから納付していただいた使用料と一般会計からの繰入金を財源として、5つの処理施設の維持管理や地方債を償還しています。

●下水道整備計画について

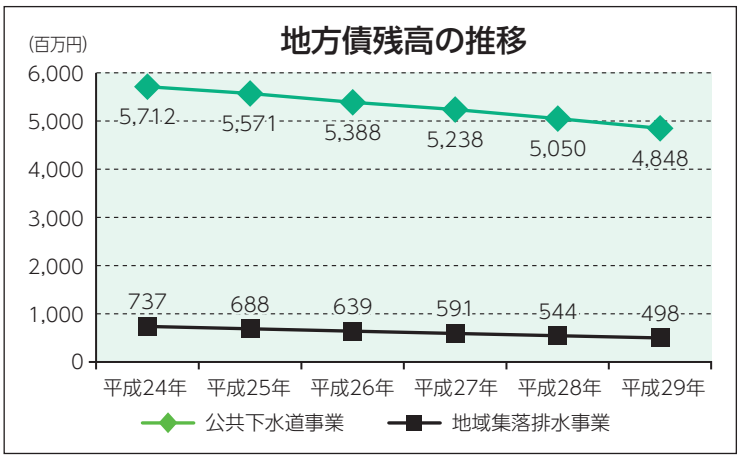
昨年度、大蕨岡集落と上蕨岡の一部の集落の整備が完了し、平成30年度は上蕨岡集落と水上集落の整備に着手しています。3月末には供用開始の予定です。また、平成31年度は、田中と千本柳（坊主新田）集落の整備を予定しています。

●地方債残高の推移

公共下水道会計の地方債残高は平成19年にピークを迎えて以降、建設改良費などの投資的経費を抑制し、計画的に地方債残高の減少を図っています。今後も計画的な地方債の借入れと、償還に必要な財源の確保に努めていきます。

●下水道への接続をお願いします

下水道が利用可能な区域に住んでいる人は、下水道への接続が義務付けられています。多額の費用をかけて整備しても、皆さんから下水道に接続してもらわなければ、施設を維持していくことはできません。供用開始している地域の皆さんは、一日も早く下水道へ接続していただくようお願いします。



●問／地域生活課下水道係　☎72－5894

お急ぎください！『ゆざ健康マイレージ』のポイント獲得期限が間近です！

健康づくり事業に参加して20ポイントを貯めると商品券と交換できる「ゆざ健康マイレージ事業」。平成30年度のポイント獲得期限は3月29日㈮までとなっております。

職場等の健診を受診された方、ツーデーマーチに参加した方でまだポイントをもらっていない方は、健診結果や完歩証と共に防災センターへポイントカードをご持参ください。

また、2月に開催される各地区健康大会・健康のつどいもマイレージ対象事業となっておりますので、ぜひご参加ください。内容について詳しくは、各地区のチラシをご覧ください。

地　区	日　時	会　場
稲川地区　健康のつどい	2月8日(金)　午前10時～	稲川まちづくりセンター
蕨岡地区　健康大会	2月14日(木)　午後１時～	蕨岡まちづくりセンター
高瀬　いきいき元気塾	2月16日(土)　午前９時30分～	高瀬まちづくりセンター
遊佐地区　健康づくり大会	2月22日(金)　午後１時30分～	生涯学習センター
西遊佐地区　健康づくり大会	2月23日(土)　午後１時30分～	西遊佐まちづくりセンター
吹浦地区　健康福祉のつどい	2月9日(土)　午前10時～	吹浦まちづくりセンター

※商品券との交換期限は3月29日㈮です。

●問／健康福祉課健康支援係　☎72-4111

★★★遊佐町地域おこし協力隊　隊員募集★★★

町外の方の視点・技術・行動力による町の活性化のため、下記業務に取り組んでいただく遊佐町地域おこし協力隊の隊員を募集します。**業務詳細、対象者要件、待遇等の詳細につきましては、町HPをご覧ください。**

●**担当業務**／

①遊佐町の特産品の販売・ＰＲおよび新たな特産品の開発業務（募集１名）

特産品のＰＲ・販売促進活動・開発等による遊佐ブランドの確立・発信の取り組みの実施。

②婚活・ウエディングプランニング支援業務（募集１名）

結婚支援推進員活動強化、婚活イベント等実施、町ならではのウエディングプランニング企画運営。

③観光・自然資源の魅力発信および活用推進業務（募集１名）

鳥海山・飛島ジオパークや観光・自然資源の町内外への情報発信、さまざまな分野でのジオ資源の活用。

④生涯学習推進・若者支援業務（募集１名）

自主的な「学び」の場の充実のための企画・情報発信、若者の団体・グループ活動の支援等。

⑤学校教育や地域学習に関する支援業務（募集１名）

遊佐町らしい学習支援塾の企画運営、遊佐高校に係る各種事業の支援。

●**対象者要件**／

・20～40歳の方で、応募時に都市地域等在住（※）で、採用後に町に住民登録して生活拠点を移すことができ、最低１年以上の活動が可能な方（最長３年まで。ＵＩターン者も可）。

※住所地要件があります。企画課企画係にご確認ください。

・普通自動車運転免許、基本的なパソコン操作・インターネット活用技術をお持ちの方

●**活動時間**／原則　平日週５日で１日７時間45分勤務（業務により土・日・祝日勤務の場合は振休対応）

●**活動謝礼**／166,000円／月

他に住居および活動車両貸与等あり。

●**応募方法**／2月28日㈭午後5時15分まで下記に応募用紙をご提出ください。応募用紙様式は町ＨＰからダウンロードいただくか、企画課企画係にてお受け取りください。

※郵送可、当日消印有効。

●**審査**／書類による一次審査および面接による二次審査

●**活動開始**／原則4月1日（相談に応じます。）

●問・申／

〒999-8301　山形県飽海郡遊佐町遊佐字舞鶴211

遊佐町役場　企画課企画係　☎72-4523

Let's 遊活!! 第10回

遊佐町子ども合唱団 スマイルキッズ

活動内容

遊佐町子ども合唱団スマイルキッズは、平成18年に豊島区と友好都市となったことをきっかけにして誕生しました。現在は小学校1年生から6年生まで、18人が在籍。夏の遊佐町音楽祭や秋の山形県少年少女合唱祭などを中心に、さまざまな場所で合唱を披露しています。「歌はスマイル&パワー！」を合言葉に、子どもたちの元気を皆さんに伝えられるよう、一生懸命、そして楽しく活動しています。

歌うだけじゃなく、身体も動かしながら楽しく活動しています。

スマイルキッズからのメッセージ

合唱はひとりではできません。友達の声を聴いて、周りの声に自分の声を乗せて伝えることが大切です。スマイルキッズで活動している子どもたちには、上手に歌うことよりも、人の声（話）をよく聴くことのできる、そして自分の声（意見）をはっきりと表現できる人に成長してほしいと思っています。

遊佐町音楽祭で日ごろの成果を発表

毎週土曜日の午前10時～11時30分に、生涯学習センター3階の音楽室で活動しています。月謝1,000円。制服、楽譜等は支給されます。お家の方もご一緒に、お気軽にご見学ください。

●問／指揮者　小田原　裕
☎72-2670

鳥海山・飛島ジオパーク　リレーコラム

「日本海と大地がつくる 水と命の循環」

《第50回》秋田の油田地帯と院内油田

秋田大学大学院国際資源学研究科
資源地球科学専攻長・教授
大場　司 氏

昭和40年代以前のにかほ市中山丘陵では、夜には星よりも明るく灯が点り、眩い夜景が広がっていました。それは当時稼働していた院内油田の灯でした。院内油田は大正11年に上小国集落付近から開発が始まり、その後は北側や桂坂集落に開発が広がりました。しかし平成7年には閉山となり、現在は一部が近代化産業遺産として保存されています。

かつて秋田県は国内有数の油田地帯を抱えていました。明治6年の秋田市旭川油田の開発の後、明治後期～昭和初期を中心に多くの油田が開発されました。黒川、豊川、八森、由利、八橋、院内、桂坂、小滝が当時の油田として挙げられ、中でも院内油田は秋田市の八橋油田と並ぶ大規模な油田であり、日産量が日本最大だったこともあります。昭和30年代まで秋田県内の多くの油田は稼働していましたが、その頃から急速に減退し、多くの油田は閉山しました。

秋田市内で稼働する油田

秋田県内にはわずかながら現在でも採油している油田もあり、秋田市では住宅地に隣接する油田を見ることができます。一見するとかつての院内油田とはずいぶん違って見えます。ぜひ産業遺産の院内油田跡と比べてみてください。

昔はこんな道具があったんだ！
…古い道具と昔のくらし体験学習

1月15日㈫から24日㈭にかけて、歴史民俗学習館に町内の小学3年生が訪れ、「古い道具と昔のくらし体験学習」が行われました。この取り組みは社会科の授業の一環で、実際に昔の道具に触れたり、体験したりして、昔ながらの工夫や現代の便利さを学習するもの。15日には遊佐小学校3年生36名が体験に訪れ、昔の消防道具や衣服、テレビや住居の様子などに興味津々で見学しました。

振り回してもろうそくの火が消えない、昔の懐中電灯「がん灯」

稲穂をぎゅっと握らないと抜けちゃうぞ！

その後は、実際に昔の農機具などを使った作業も体験。「千歯こき」や「足踏み脱穀機」を使った稲穂の脱穀作業や、「石臼」を使い、大豆を挽いてきな粉にする作業に取り組みました。参加した児童たちは、思ったよりも力やコツのいる作業に四苦八苦しながらも、昔の人の知恵を体験し、楽しそうに作業に取り組んでいました。最後は挽いたきな粉でお餅をいただきます。昔の道具と暮らし、そして味も勉強できた一日となりました。

あなたの読書を明るく照らす
…町立図書館にイルミネーションが点灯

12月19日㈬、町立図書館でイルミネーションの点灯式が行われました。図書館入り口前の通路には約５千個のLEDライトが設置され、数種類の点滅パターンで訪れる方をお迎えします。午後４時から６時半まで点灯し、新刊案内や本の返却ボックスの利用の手助けに。点灯時間は季節に応じて変更する予定となっています。

まるで図書館へ誘うかのような、優しげな光が灯ります。

全国大会でも活躍が期待されます。

遊佐クラブが全国大会へ
第30回全国家庭婦人バレーボールいそじ大会県予選優勝

11月25日㈰に行われた第30回全国家庭婦人バレーボールいそじ大会県予選で、遊佐クラブが優勝し、全国大会への出場を決めました。この大会は、50歳以上の選手が出場するいそじママさんバレーの大会。家庭を持ちながらも活躍する、遊佐のママさんバレーの力強さを見せつけました。全国大会は３月15日に山梨県甲府市で開催される予定となっています。

フォトトピックス

Photo Topics

無火災・無災害祈願!!

１月６日㈰、遊佐町消防出初式が行われました。杉の子幼稚園園児の火の用心行列を先頭に、消防団の隊列が行進。雪の降る中はしご演技が行われ、１年の無火災・無災害を祈願しました。

豊かで個性的な美を表現

12月11日㈫から１月27日㈰にかけて、あぽん西浜で遊佐書道会作品展が行われました。作品展には13作品が展示され、書の美しさや個性的な表現で、利用者の皆さんを楽しませました。

同じ目線で交流しよう!

12月17日㈪、遊佐高等学校２年次生と、吹浦小学校４・５・６年生との交流会が行われました。今回の交流会では、いつもの発表会方式からやり方を一新。高校生があの手この手の遊びを考えて、より近い距離で吹浦小学校の児童たちと交流を深めました。

クリスマスを音楽で彩る ユザブルームジュニアXmasコンサート2018

美しい弦楽器の音色にうっとり

12月23日㈰・㈷、生涯学習センターホールでユザブルームジュニアによる第９回Ｘｍａｓコンサート２０１８が開催されました。この日は、ユザブルームジュニアに参加する幼稚園年長から高校２年生までの園児・児童・生徒たちが、日ごろの練習の成果をヴァイオリンやチェロなどの音に乗せて観客の皆さんに伝えました。また、ゲストや特別出演の方からも参加していただいての合奏演奏も披露。クリスマスの生涯学習センターを、素敵な音色で包み込みました。

地域待望の「駅前一区自治会館」が完成

地域の活動拠点としての活用が期待されます。

駅前一区自治会（渋谷隆士会長）が宝くじの助成金を活用して、駅前一区自治会館を整備しました。この事業は宝くじの収益金を活用しコミュニティの健全な発展を図るとともに、宝くじの社会貢献広報事業として行っているもの。地域の皆さんの憩い、寄り合いの場、活動の拠点として活用されることでしょう。

※（一財）自治総合センターでは、宝くじの受託事業収入を財源としたコミュニティ助成事業を実施しています。

● 問／企画課まちづくり支援係 ☎72－4524

Town Voice

まちかど ホットライン

読者の広場

遊佐刺し子を通じて国際交流
オーストラリアの方々が遊佐刺し子を体験

12月9日㈰、にぎわい創造館にオーストラリアの方々が訪れ、遊佐刺し子の体験教室が行われました。訪れたオーストラリアの方々は、代表のジェーン・マクドナルドさんを除いて初の来日。初めて触れる日本の、そして遊佐の文化を満喫し、針に糸を通すところから苦労しながらも、楽しそうに遊佐刺し子の体験に取り組んでいました。お昼には遊佐刺し子のメンバーによるおもてなしの昼食が用意され、参加されたマクドナルドさんは「素晴らしかった（ファンタスティック）。参加できて光栄でした」とコメントされました。

美しい遊佐刺し子の制作を体験

それゆけ「でたらめ音楽隊」…グループホーム燦燦でクリスマス会

12月17日㈪、グループホーム燦燦でクリスマス会が開かれました。この日は18名の利用者の方が、サンタクロースの姿に扮して参加。各々が木琴や小太鼓、タンバリンなどを手に、「でたらめ音楽隊」となって「キラキラ星」や「證城寺（しょうじょうじ）のたぬきばやし」、「おもちゃのチャチャチャ」などの曲を奏でました。「でたらめ音楽隊」とは、自分が音を出したいと思ったところで楽器を鳴らす楽譜の無い音楽隊のこと。音楽隊の鳴らすリズムに乗って、職員やゲストの方々も一緒になって踊り出す、楽しいクリスマスパーティーとなりました。

自由な音楽に合わせて踊る、素敵なクリスマスに。

将来は何をしたい？地域おこし協力隊と将来について語ろう

12月14日㈮、遊佐高等学校で1年次生33名を対象に、「地域おこし協力隊の皆さんと将来について語ろう」という取り組みが行われました。この取り組みは「産業社会と人間」の授業の一環。地域おこし協力隊の5名に、活動内容やなぜ協力隊をしているのか、人生経験などを聞きながら、自分たちの進路について考える目的で行われました。

この日は協力隊がそれぞれのブースを作り、そのブースへ生徒たちが訪問。協力隊の歩んできた人生や、生徒たちが今打ち込んでいることなどについて、自由な雰囲気で会話が進められました。生

まち協インフォメーション

西遊佐 冬場の交通事故にご注意を!

昨年末に、西遊佐まちづくりセンターにて、冬場の交通事故防止のための交通安全研修会を開催しました。

3面スクリーンを使用した「わたりジョーズ君」でのリアルな横断体験では、夕暮れや夜間、降雪時など車の行き交う危険な場面を参加者全員がドキドキしながら体験しました。

また、酒田警察署の方から、各場面での注意点や安全な横断方法、さらに運転時の交通ルールについてもアドバイスいただき、大変充実した研修会となりました。歩行者も運転者も、冬道の安全には十分注意しましょう。 ●問／西遊佐まちづくりの会 ☎75-3822

3面スクリーンを使用したリアルな横断体験も実施

きらっと・ナウ

齋藤　瞭太郎さん（大谷地）
Ryotaro Saito
平成３年生まれ

遊佐に農業で活気を

■一言／

高校を卒業後、茨城で機械メンテナンスの仕事に勤めていましたが、兄弟が就職したことをきっかけに実家に戻り、農家を継いでいます。手がけているのは主に米や大根、夏場はスイカやメロンも作っています。農業用の機械は操作が難しく、なかなか大変です。今はまだ仕事の段取りも良くわかりませんが、いずれは自分でやれるようになっていきたいです。

実家では「チビチビ」という猫を飼っていて、主に私が世話をしています。チビチビという名前ですが、順調に成長し、今では近所で一番大きな猫になりました。チビチビを飼ってからは家から鼠がいなくなり、農家としてはありがたい限りです。

■町への要望／

農家をしていると農道をよく利用するのですが、未だに砂利道が多く、長年の利用で変形してしまっている所もあるので、舗装を進めて欲しいです。

1年次生に人生について語る坂部隊員

徒からは「協力隊の皆さんは、みんなそれぞれの理由で今の仕事をしていたけど、自分のやりたいことを諦めないでチャレンジすることが大切だと分かった。自分の将来についてもチャレンジしていきたいと思った」と、将来に対する想いが聞かれました。

思いやりの心を育む 人権書道コンテスト児童作品展示

12月26日㈬から1月18日㈮にかけて、生涯学習センターロビーにて平成30年度人権書道コンテスト遊佐町内児童作品が展示されました。ロビーには「友達とけんかしないで仲良くなれるように」「希望にあふれた毎日が送れるように」という児童たちの想いの込められた、「友情」や「希望」、「平和」など19作品を展示。書道を通して、友達や命を大切に思う気持ちや、思いやりの心が育まれたことでしょう。

児童の想いの詰まった作品が展示されました。

お詫びと訂正

平成31年1月1日号にて誤りがありました。お詫びして訂正します。

くらしの情報　むし歯ゼロ
誤）永未みのりちゃん（漆曽根）
正）永末みのりちゃん（漆曽根）

集落支援員だより

あいさつ回りをしてきました

皆さん笑顔で歓迎してくれました。

移住してきた方々にとって欠かせないことは集落での暮らしです。集落の皆さんと知り合いになり、行事に参加することで、少しずつ遊佐町民になっていくのだと思います。

そのために大切な「隣組あいさつ回り」を集落の区長さんと一緒に行い、集落支援員も同行しています。ご挨拶だけでなく、回覧板の受け渡し、ゴミステーションの場所の確認等もします。私たちが当たり前であることが移住者の皆さんにとっては「初めて」ということもあるので、ご近所づきあいが今後の町での暮らしの助けになるはずです。「よろしくお願いします！」と挨拶すると、どこのご家庭でも笑顔で迎えてくれることが、とても嬉しいです！

集落支援員　渋谷一行・佐藤正子
☎72-3981　FAX 28-8455（集落支援員事務所：Aコープゆざ店２階）